

JAMSTECの見学参加者のアンケートより その2



- ・深海には、まだまだわからないことがたくさんありますが、それらに一生懸命に取り組んでいる姿を子どもたちにも見せられたら、と思います。
- ・海底探査船は、海のことを知るだけでなく、地球のことや環境のことなどを知るために役立っているということが

がわかった。

- ・「しんかい6500」(模型)のcockpitに乗ってみましたが、思ったより狭く、息がつまりそうでした。しかし、それ以上に深海に魅力があるから、人は潜るんだ、と思いました。

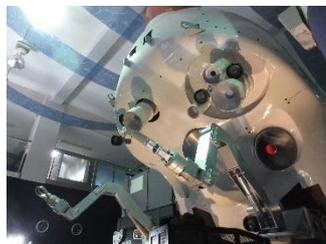


- ・深海について、こんなにも色々な取組を行っていることを初めて知りました。本物の「しんかい6500」を見ることができ、とても貴重な体験となりました。

- ・「しんかい6500」の本物が見られたのはラッキーでした。・・・模型と合わせて見学する事で、よりリアリテ

ィが増しました。ぜひ、子どもたちも連れてきたいと思いました。

- ・同郷の方が、こんなにすごいところで活躍しているというのも、子どもたちにとっては、夢の広がる話なので、いいですね。



- ・説明は、中学校での理科の知識があれば、十分に理解できるものが多かった、と感じた。・・・今日得た知識は、子どもたちに伝えられると思う。特に、学習した内容が、このような研究の技術として用いられていることを強調して伝えたい。

- ・最先端の技術だが、大きな原理は中学校の理科で説明できるので、中学生に見学させたい、と感じました。
- ・「深海を探る」ということが、新たな生命体との出会い(生物学)、地球の内部の構造を知る(地学)、水圧に耐える技術を開発する(物理学)等、多岐にわたる学びの総合体であるということを改めて実感することができました。
- ・自然災害の多い日本で、メカニズムの解明や早期予知などができているのは、日頃から、日々、調査研究に励んでいる方々のおかげだということに、改めて気づくことができた研修でした。学校に持ち帰って、広げさせていただきたいです。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで